

## ◎ 美術館情報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

### 1. 瀬戸市美術館【愛知・瀬戸】 ([http://seto-cul.jp/archive/R3\\_nenkan\\_event\\_new5.pdf](http://seto-cul.jp/archive/R3_nenkan_event_new5.pdf))

11月20日(土)～2022年3月13日(日)

瀬戸市美術館特別展 磁祖加藤民吉生誕250年プレ事業

「川本治兵衛ー瀬戸染付の精華そして湖東焼ー」

2022年に、民吉が生誕してから250年という記念すべき年を迎えるにあたり、民吉の偉業を再認識するきっかけとすることを目的に、第2弾として本展では、瀬戸染付の精華を極めたと言っても過言でない川本治兵衛の作品を初めて一堂に展示し、その技と美の昇華をご覧ください。また湖東焼を展示することで、瀬戸の磁器生産技術が伝播した事業とその背景を知っていただきながら、瀬戸における磁器生産の歴史の一頁を明らかにしていきます。



### 2. 東京国立近代美術館【東京・千代田】 (<https://www.momat.go.jp/am/exhibition/mingei100/#se>)

10月26日(火)～2022年2月13日(日)

企画展：柳宗悦没後60年記念展 民藝の100年

本展は、各地の民藝のコレクションから選りすぐった陶磁器、染織、木工、蓑、ざるなどの暮らしの道具類や大津絵といった民画のコレクションとともに出版物、写真、映像などの同時代資料を展示し、総点数450点を超える作品と資料を通して、民藝とその内外に広がる社会、歴史や経済を浮かび上がらせます。



### 3. 兵庫陶芸美術館【兵庫・丹波篠山】 (<https://www.mcart.jp/exhibition/e3303/>)

12月11日(土)～2022年2月27日(日)

特別展：やきものの模様ー動植物を中心にー

やきものに表現された「模様」を、動物、鳥、魚、花などに分けて紹介するとともに、先人たちが地球上に生息する動植物をどのように写し取って表してきたか、アート(美術)とサイエンス(自然科学)の双方の眼で見つめながら、模様に入れられたその想いをたどります。



### 4. 佐川美術館【滋賀・守山】 (<https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/plan/2021/04/x-4.html>)

9月14日(火)～2022年1月16日(日)

企画展：吉左衛門 X MALEVICH

マレーヴィチー素描＋十五代樂吉左衛門・直入ー茶碗

樂吉左衛門館では、開館以来「吉左衛門 X」というシリーズで、十五代樂吉左衛門作品と何か(思惟を共有する作家であったり、事象であったり)とのコラボレーション展を開催してきました。第12回目となる今回は、ロシア・アヴァンギャルド(1900年のはじめ頃にロシアで起こった前衛アート)の一つシュプレマティズムの創始者として知られるカジミール・マレーヴィチとのコラボレーションを紹介します。

